



発行所
西原村役場
電話(09894)(5)-4533
印刷
西原印刷
電話(09894)(5)-3475

村の世帯・人口
(昭和54年11月末日現在)
世帯数 3,436世帯
人口 15,341人
男 7,808人
女 7,533人
11月の人口移動
出生 22人 死亡 4人
転入 82人 転出 83人
婚姻 12件 離婚 2件

めております。
既に村議会の議決を経て県に對し、町制移行の諸手続きも終え、後は県議会の議決と自治省の告示待ちの段階であります。
本村が間切から村に移行したのが明治四十二年で本年で丁度七〇周年を迎えることになりました。

そのためには町と申しても対話行政を基調にしながら住民本位の行政を確立し奉仕者としての自覚の下に全職員が一丸となって明るく、清潔な職場づくりと親切で信頼される行政を進めてまいり所存を申し上げます。

デインジャー部隊、初の訓練披露

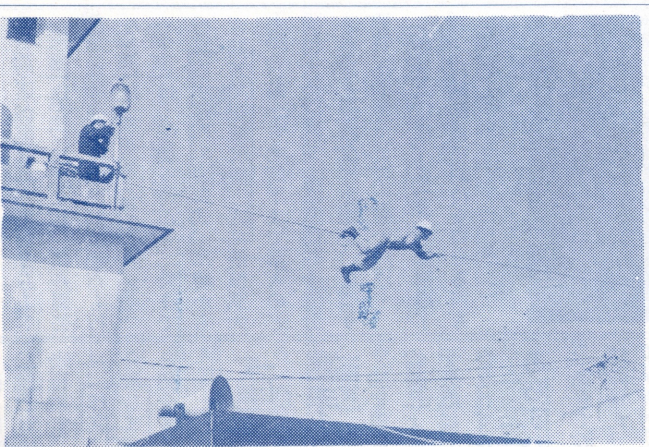
昭和54年東部消防組合出初式

東部消防組合(栗国良行管理)では、一月六日午前十時から東部消防組合本部裏広場(与那原町在)で昭和五十四年の出初式を行なった。
式典は、消防職・団員の通常点検と車輛点検が始まり、その後、十年以上勤続と五年以上勤続の職員の方々計二十五人にそれぞれ永年勤続賞と優良賞(賞状とメダル)が県消防協会(稲嶺成珍会)から手渡された。

表彰式後、管理者(栗国良行与那原町長)、県総務部長(平良清安)、県消防協会会長(稲嶺成珍)、日本消防協会会長(メッセーシ)、東部消防組合協議会会長(我謝孟敏)などから来賓祝詞を受けた。

最後に消防職員の精鋭なデインジャー部隊十人によるビルからビルへのロープ渡り(モンキー渡り)とセラー渡り、ロープによるビルの登り下り、高い建物からの救助マットへの落下などが披露され、観衆をびっくりさせた。一般披露は今回が初めて。今年も、火災のない住みよい安全な生活ができるよう村民の皆様にもご協力をお願いいたします。

午前十時半から消防職・団員の日頃鍛えた訓練成果が一般住民に披露され、にぎわった。
まず、昨年度大会で優勝した西原分団員による応用操法が披露され、スタート、ホース連結、エンジン始動、放水などの早さに一般住民の歓声をあげた。
次に、消防職員によって、油火災を想定して、深さ約二十センチ、一辺約二メートルの正方形の鉄製タンクにドラム缶一本分のガソリンが注がれ、点火後高圧発砲式の消防車が急行。約五メートルの火柱に筒先より泡が噴き出され、二分後には完全に鎮火された。



デインジャー部隊によるロープ渡り

最後に消防職員の精鋭なデインジャー部隊十人によるビルからビルへのロープ渡り(モンキー渡り)とセラー渡り、ロープによるビルの登り下り、高い建物からの救助マットへの落下などが披露され、観衆をびっくりさせた。一般披露は今回が初めて。今年も、火災のない住みよい安全な生活ができるよう村民の皆様にもご協力をお願いいたします。

飛躍発展の年に

ひつじ年

年頭のあいさつ

住みよい街づくりに邁進

村長 宮平吉太郎



村長 宮平吉太郎

現状を踏まえ、住民福祉の増大を図るため総べての施策が空論に終ることなく財政の裏付けを配慮しつつ、健全財政の上に立つて諸計画を強力に遂行していく覚悟を新たにしております。

復帰特別措置法の施行中において教育環境の整備を図る考えであります。

本年は町制施行を契機に飛躍発展の年として位置づけ、都市計画区域と農振地域との調和を図りながら、各々の機能を発揮させ、住んでよかった、住みたくなる街づくりを目指して精力的に取り組んでいく所存であります。

村政発展に努力

村議会議長 親泊輝武



議長 親泊輝武

民福祉の向上、村政発展に努力を重ねて参りましたが、今年も村民各位の声を充分拝聴し、それを基礎に豊かで住みよい村づくりに専心努力して参りたい所存であります。

ご承知のように本村は地理的条件に恵まれ、近郊都市のベッタウンとして、とくに復帰前後から地域開発が盛んになり、それに伴って人口は年々増える傾向にあります。

こうした地域開発に伴う急激な人口増加と村政の円滑な運営を図るため、一昨年九月に行政区の改編を行い、また昨年十二月には、人口に伴増加する村民個々との融和と村民意識の高揚を図り、合わせて村内各種産業、文化の発展を目標に第一回西原まつりが実施されましたが、これも関係各位のご努力と村民各位のご協力を得て十分に所期の目的を達成すること

ができましたことは誠に同慶にたえません。

更に変動する社会環境に対応すべく、昨年十二月の定例議会において町制移行への議決がなされ、今年四月一日町制移行をめざして現在その準備が進められております。

このように本村におきましては変転する社会情勢に即した種々の施策がとられておりますが、私も議会といたしまして、これを強力に推進し、執行機関と相提携して新しい町づくりに努力いたしたい所存であります。

昨年は内外ともに厳しく、相いも変らず不況と失業にあけくれた多事多難な年でありましたが、今年はこの経済不安からの脱皮を図る躍進の年になることを念じてやみません。

最後に新春を迎えるにあたり、村民各位のご多幸とご健康を祈念いたします。

私は、現在の社会情勢と本村の

第1回西原まつり、大盛況

一万人余の観客でにぎわう

西原まつり実行委員会（宮平吉太郎委員長、村長）では、十二月二日と三日の両日、西原中学校グラウンドで村民相互の融和と住民意識の高揚を図るため、第一回西原まつりを行ない、村内外から延べ一万人余の観客を集め、大盛況のうちを終った。

例年は、産業まつり、郷土芸能文化祭、老人作品展などを開催していた。

中央公民館、社会福祉センター、養豚団地などの建設と目まぐるしく発展していく本村は町制移行をひかえ、それらを一括し「西原まつり」として定着させるべく計画された。

二日午後二時に西原小学校と坂田小学校の二カ所から、西原中学校に向けてパレードを行ない、ま

つりの火ぶたが切られた。それぞれ、西原、坂田の両小学校の鼓笛隊を先頭に村役場職員、農協職員、婦人会員、老人クラブ会員、我謝の綱、各区分民などで約二百メートルにおよぶ行列をなした。西原小から出た行列は、国道三二九号線を北上し役場前を通り、中学校に入った。坂田小から出た行列は県道三八号を南下し、中学校に直行。

午後四時から開会式が西原中特設ステージで行なわれ、実行委員長（宮平吉太郎）、村議会議長（親泊輝武）、教育委員長（仲宗根英輝）、商工会長（古波蔵保雄）からあいさつを受けた。その中で宮平委員長は「村内の産業、教育、伝統芸能等を深く認識され、

継承し、地域社会の発展のために御協力下さいますようお願い申し上げます。」「明るい村、平和な村、豊かな村」づくりの意義ある村民行事になることを心から願う」と述べた。

花火、夜空に咲く

七時から十五分間花火大会が行なわれ、戦前戦後を通じて本村で初の花火が打ち上げられた。観衆も「すごい、すごい」、「きれいだな」などの連発。花火は、暗い夜空に色とりどりの花を咲かせ、壮大な景観であった。翌三日も午後七時四十五分から十五分間行なわれ、両日で使用された花火は百十発。子供達の夢を大空に広げてくれただろう。

二日、七時半から九時まで、上原直彦司会による芸能バラエティー「ふるさと万才」（RBC公開放送番組）が行なわれ、にぎわっ

た。特設ステージの周囲には約千人の観衆が集まった。

一方、西原中体育館では、午後二時から六時まで農産物、農産加工品、手工芸品、商工業製品、図画、作文、書道、写真等が展示された。観客の目を惹きつけ、大盛況であった。翌三日も午前九時から午後八時まで展示公開され、連日観衆の人氣が集中した。

グラウンドをほぼ楕円形に四十二張のテントが張られ、飲食関係、おもちゃ、金魚すくい、輪投げ、民芸品（陶器、星砂）、農業用具、スポーツ用品、電化製品、

カー用品、射的ゲーム、ネットなどの店が出され、まつりムードを一層色どった。また、花卉園芸の展示即売と苗木の無償配布も行なわれた。

三日は、午後一時から二時まで作品展示部門の表彰式、二時から六時まで伝統芸能、古武術演武大会、六時から七時半まで素人のど自慢大会、八時から八時四十五分までおどりの夕べと続き、まつりもクライマックスを迎えた。

午後九時に、まつりも無事終了し、次期開催に期待を寄せる声も多いようであった。

「伝統芸能紹介」

嘉手久の縁（字内間）

50年前に村芝居で当時の区長と役員によって創作された歌劇「嘉手久の縁」は今なを内間部落に保存されている。

あらすじ

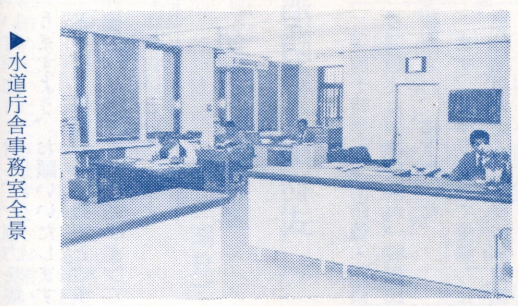
首里で殿奉行二ヶ年を終えて村に帰って来た好青年兄小に、村のみやらの頭美女のあん小が一目惚れ何とか近づき語り合いたいと恋しき兄小の畑仕事の帰りを待ちうけ口説きに踊った嘉手久が縁で結ばれる。それを見ていたジラーウンチュウとウサーウンチュウが若き日を想い出して踊る。

モダンな水道庁舎、完成

村水道課では、昭和五十三年度村水道事業会計予算で総工費一、六八八万四千円を投じて八月一日から東部消防本部西原分遣所庁舎二階に水道庁舎の増築工事を進めていたが、十二月十五日に完成し、同課職員も翌十二月十六日に新庁舎に移動した。新庁舎は、全体的にモダンで、りっぱな事務所である。

村水道課は、現在まで村役場庁舎建設課隣りで業務を運営していた。しかし、コンピュータなどの事務機、器具の導入などにより事務室が狭くなったことと本村の人口増加に伴ない事

設計・呉屋設計事務所（呉屋盛一代表）、本体工事・池原組（池原忠英代表）、電気工事・丸新電気（新垣勇代表）、水道工事・丸福設備（稲福勇代表）、空調設備・新和設備（比嘉篤



水道庁舎事務室全景

また、水道課の移転に伴ない、建設課事務室が拡張された。

▲夜空に咲く花火、子供の夢を広げてくれた

▲見事な宮平光雄さんの菊

▲子供のど自慢大会

第1回西原まつり展示物入賞者

農産物の部

【優秀賞】具志堅興善（池田）、屋良朝進（上原）、石原昌（上原）、小橋川貞吉（我謝）

【入賞】稲福恭宗（上原）、与那嶺太郎（小波津）、野国ツル（池田）、仲宗根仁王（幸地）、城間正義（幸地）、翁長精三（幸地）、島袋宗盛（池田）、玉那覇佳秀、玉那覇富子（小那覇）、中合ヤス子（嘉手苺）、与那嶺次郎（幸地）、城間正義（幸地）、翁長三郎（幸地）、津花波、宇久田朝秀（池田）、野国昌象（池田）、新垣盛吉（兼久）、宮平カミ（我謝）、与那嶺次郎（幸地）

【優秀賞】澤岬和江（幸地）、宮里文子（棚原）、桃原トシ子（与那城）、仲宗根郁子（幸地）

【入賞】呉屋ツル（呉屋）、呉屋初子（呉屋）、城間朝子（呉屋）

【優秀賞】澤岬和江（幸地）、澤岬静子（幸地）、与那嶺政子（幸地）、カミ（幸地）、澤岬静子（幸地）

【優秀賞】仲宗根春（幸地）、宇久田悦子（池田）、比屋根キヨ（池田）

翁長あや子（幸地）、呉屋啓子（小波津）、城間信子（棚原）、小波津洋子（小波津）、喜屋武ツル（池田）、石原春子（上原）、屋良敏子（上原）、仲宗根ヨシ子（幸地）、比嘉千代（幸地）、仲宗根政子（幸地）、花城秀子（兼久、高江洲キヨ子（嘉手苺）、玉那覇房子（小那覇）

【野菜生産優良農家】屋良朝進（上原）、屋良朝信（上原）、石原昌一（上原）

【畜牛生産優良農家】与那嶺安正（幸地）

【養豚生産優良農家】城間正保（兼久）、野国昌敏（池田）、小波津三郎（小波津）

【優秀賞】小波津広子（小波津）

【入賞】真志喜和子（与那城）、翁長トミ（与那城）、呉屋光子（小波津）、島袋房子（翁長）、仲宗根政子（幸地）、新川千代子（内間）、花城秀子（兼久）、玉那覇房子（小那覇）、呉屋光子（掛保久）、新川澄子（小那覇）

【優秀賞】宮平光雄（与那城）、弓削次男（掛保久）、与那嶺勲（津花波）、小波津正雄（安室）

【入賞】新城良一（与那城）、外間久一（兼久）、玉城善長（掛保久）、玉城善友（掛保久）、新川雅博（兼久）、宮平定昌（与那城）、宮平正輝（我謝）、宮平光勝（与那城）

【金賞】与古田光順（小那覇）、与那嶺真範（与那城）、与古田光助（与那城）、我謝孟信（小橋川喜屋武哲治（我謝）

【銀賞】与古田光順（小那覇）、与古田光助（与那城）、喜納昌春（小那覇）

◎西原写真館からの副賞

【特別賞】与古田光順（小那覇）

【努力賞】我謝孟信（小橋川）

【入賞】与那城ツル（安室）、比嘉カナ（棚原）、宮平ヨシ（棚原）、宮平清子（兼久）、城間ウシ（我謝）、大城ツル（内間）、大浜静（兼久）、金城澄（安室）

副賞

1、中部製糖工場株式会社からさとうきび生産優良農家喜納信徳（上原）、喜屋武有栄（安室）、小波津善一（小波津）、与那嶺正義（幸地）、小波津祐光（小波津）、呉屋忠康（我謝）、小波津政文（小波津）、翁長俊雄（幸地）、安座間喜盛（徳佐田）

2、農協長賞

(1) 農産物 上原朝進（上原）

(2) 農産加工品 宮里文子（棚原）

(3) 手工芸品 小波津広子（小波津）

(4) 花卉園芸 宮平光雄（与那城）

【金賞】かでるたいが（坂田、山里奈美（西原三年）

作文

小学校低学年

【金賞】しるまきや（西原二年）

【銀賞】さくもとじょういち（坂田一年）、儀間悟（西原二年）、小波津やよい（西原三年）

【入賞】ふくざとゆか（西原一年）、よしざとゆきの（西原一年）、新垣勝也（西原二年）、大城和宣（西原三年）

【金賞】城間加夫利（坂田四年）

中学校

【金賞】与那嶺一枝（二年）

【銀賞】新垣朋子（二年）、屋良一夫（二年）

【銅賞】金武直美（二年）、大城勝也（二年）、崎原みち代（二年）

【入賞】玉那覇貴子（二年）、新川綾（二年）、金城久美（二年）

【金賞】佐久田朝行（三年）、新川礼子（二年）

【銅賞】新川淳子（二年）、宮平恵（二年）、仲間美香代（二年）

【入賞】玉那覇光子（三年）、渡真利直哉（三年）、儀間真順（三年）、長嶺由基（三年）

【金賞】武村美加子（二年）

二年

【金賞】あだにやたくじ（坂田）

【銀賞】みやざとあつこ（坂田）

【銅賞】いなふくみなこ（坂田）

【入賞】しろまひろこ（坂田）、与那覇春介（西原）、あらかきかつや（西原）、ほかまのりやす（西原）

【金賞】平安美奈子（西原）、伊礼礼治（西原）

【銀賞】仲田隆（坂田）、仲里昌幸（西原）

【銅賞】中谷直人（西原）、峰原亮（坂田）、仲間吉也（西原）

【入賞】中村宏二（坂田）、譜久村洋彰（坂田）、末吉直樹（西原）

六年

【金賞】宮城薫（西原）

【銀賞】石原昌信（西原）、小橋川りえ子（西原）

【銅賞】米崎睦子（坂田）、与那嶺正（坂田）、下地盛幸（西原）

【入賞】屋良朝次（坂田）、山内あかね（西原）、呉屋保（西原）

【金賞】こはつしゅうへい（西原）

【銀賞】ひがひろとし（西原）、よなみねかつや（西原）

【銅賞】うえはらみのる（西原）

【入賞】ぎまかづたか（西原）、こはつさぐる（西原）、こうちじゆん（西原）、よなしろまさのり（西原）

工作

一年

【金賞】石垣恭一郎（坂田）

【銀賞】川満未知（坂田）、金城まき、嘉手苺妙子（西原）

二年

【金賞】山内まさよ（西原）

【銀賞】あだにやたくじ（坂田）

【銅賞】みやひらしのぶ（西原）

五年

【金賞】玉那覇和美（西原）

【銀賞】大瀧喜哉（西原）、田里雅音（西原）

三年

【金賞】宮良なが子（坂田）、玉村優子（坂田）、与那嶺美千代（西原）

入賞できなかったみなさんは来年頑張りましょう。

【銅賞】大城栄作(西原)、呉屋勝典(西原)、仲宗根健作(坂田) 【入選】渡久地由美(坂田)、外間栄安(坂田)、大嶺さより(西原)、大城清美(西原)		二年 【金賞】瀬長和子 【銀賞】我謝清美、諸見里安和 【銅賞】宮城暢子、城間史江、新垣輝明 【入選】稲福百合子、呉屋博一、喜納昌光、兼島裕		三年 【金賞】外間忠雄 【銀賞】小波津英勝、桃原理恵 【銅賞】崎原盛光、小波津敏之、澤岬恒吉 【入選】比屋根和枝、城間清美、高山朝健、大城英樹		四年 【金賞】喜屋武学(西原) 【銀賞】石原昌之(西原)、与那城彰子(西原) 【銅賞】大城恵理香(西原)、呉屋徹(西原)、平良哲也(西原) 【入選】具志堅みどり(西原)、賀数治代美(西原)、大城達彦(西原)		五年 【金賞】西原健二(坂田) 【銀賞】大城宏樹(坂田)、糸数幸也(坂田) 【銅賞】豊里直樹(坂田)、仲田武(西原)、奥平良昭(西原) 【入選】与那嶺修(坂田)、当真貴嗣(坂田)、屋宜竹志(坂田)与那覇智子(坂田)		六年 【金賞】大城浩一(西原) 【銀賞】金城洋一(西原)、糸数武治(西原) 【銅賞】与那嶺伸作(西原)、稲福広志(西原)、上江洲由美子(坂田) 【入選】新垣雄光(西原)、小波津功(西原)、比嘉三代(坂田)仲宗根利花(坂田)		一年 【金賞】仲宗根一彦 【銀賞】山入端立利、中谷清美 【銅賞】野村まりあ、宮平恵子、新川千賀子 【入選】奥浜徳子、上原直樹、小	
二年 【金賞】瀬長和子 【銀賞】我謝清美、諸見里安和 【銅賞】宮城暢子、城間史江、新垣輝明 【入選】稲福百合子、呉屋博一、喜納昌光、兼島裕		三年 【金賞】外間忠雄 【銀賞】小波津英勝、桃原理恵 【銅賞】崎原盛光、小波津敏之、澤岬恒吉 【入選】比屋根和枝、城間清美、高山朝健、大城英樹		美術 中学校 【金賞】小波津英勝 【銀賞】稲福百合子、新里尚久 【銅賞】仲間美和、中山エレナ、宮城司 【入選】外間忠雄、崎原盛夫、仲宗根毅、小橋川未美、兼島裕		一年 【金賞】新川千都子 【銀賞】新垣栄正、石川和美 【銅賞】砂川律子、山里慎三、呉屋吉信 【入選】新垣光子、玉那覇まゆみ伊良波清、大嶺義浩		二年 【金賞】玉寄盛昌、沢岬春美、玉城みどり 【銅賞】島袋ひとみ、比嘉次実、奥浜孝子		条幅の部 【入選】高原聡、翁長春美、金城るみ子、伊芸典子		小学校の部 一年 【金賞】たまむらと(坂田) 【銀賞】なかざたかお(西原)、ぎまかずたか(西原) 【銅賞】あらかきたかこ(西原)、ぎまてつじ(西原)、たばみゆき(坂田) 【入選】おおしろたもつ(西原)たまなはみか(西原)、よなしろいずみ(坂田)、やまだれいこ(坂田)	
二年 【金賞】やまもりしん一(坂田) 【銀賞】あらかきともこ(西原)うえはらまさえ(西原) 【銅賞】あさとかずみ(西原)、やまのはひろこ(西原)、ひがあたる(西原) 【入選】ひがいきむ(西原)、よなはいそこ(坂田)、きんじょうまさ(西原)、かでかるつとむ(西原)		三年 【金賞】やまうちみゆき(西原) 【銀賞】山田優子(坂田)、玉得かおり(坂田) 【銅賞】宮良けんえい(坂田)、大城勝(西原)、たまきまさる(西原) 【入選】銘由佳(坂田)、比嘉小百合(西原)、こはつともこ(西原)、新垣尚子(西原)		四年 【金賞】与那城るり子(西原) 【銀賞】赤嶺玲子(坂田)、大嶺浩次(西原)		中学校の部 一年 【金賞】玉村典子 【銀賞】奥間史子、山城隆一 【銅賞】新垣豊、伊地秀男、豊里由美子 【入選】金城正明、崎原みちよ、宮平勝、宮平明		二年 【金賞】宮城暢子 【銀賞】上原恵、我謝清美 【銅賞】城間満枝、外間育代、城間園美 【入選】仲宗根尚子		三年 【金賞】宮平百代 【銀賞】小波津英勝、玉那覇美香子		五年 【金賞】山盛尚子(坂田) 【銀賞】宮良なが子(坂田)、玉村優子(坂田) 【銅賞】村上温(坂田)、奥間公子(坂田)、大城一(西原) 【入選】小橋川由美(西原)、金城千登勢(西原)、上地安親(西原)、山入端領子(西原)	
六年 【銅賞】川満直美(西原)、波照間永樹(坂田)、小波津郁子(西原) 【入選】新川康枝(西原)、渡久地香(西原)、峰原一恵(坂田)新里敦志(坂田)		高等学校の部 二年 【銅賞】平良明美 【入選】与那覇優子(西原)、我那覇早苗(坂田)、島袋美奈子(坂田)、大城ゆみ子(西原)		半紙の部 【金賞】仲宗根弘美 【銀賞】幸本きよみ、謝名元悟 【銅賞】沢岬攻、糸数郁子 伊波利津子 【入選】砂川浩次郎、政島美代子 糸数正子、玉城ひとみ		小学校の部 一年 【金賞】とみはらひでとも(西原) 【銀賞】ごやうようしょう(西原)よしざとゆきの(西原) 【銅賞】ひらやすみき子(坂田)うえまみどり(西原)、うえはらふみひろ(西原) 【入選】やましろたかゆき(西原)こばしがわいずみ(西原)、よぎはじめ(西原)、こうちじゅん(西原)		二年 【金賞】なかすじまさみ(西原) 【銀賞】まえだよしやす(坂田)ながみねかずや(坂田) 【銅賞】あらかきなおよ(坂田)もろみざとあつし(西原)、しろまさよみ(坂田) 【入選】こはつりつこ(西原)、しまぞえみゆき(西原)、あらかきなおひさ(坂田)、つはこたか(坂田)		三年 【金賞】城間貴子(坂田) 【銀賞】新里悟(西原)、浦崎有紀子(西原) 【銅賞】伊礼真治(西原)、翁長		四年 【金賞】富浜秋初(坂田) 【銀賞】山内理香(西原)、崎原弥生(西原) 【銅賞】小橋川季一(西原)、佐事あゆみ(西原)、安座間勉(坂田) 【入選】崎原清美(西原)、糸優子(西原)、城間健一(坂田)安里盛寿(西原)	
五年 【金賞】城間勝江(坂田) 【銀賞】浦崎美佐子(西原)、宮平智(西原) 【銅賞】中村恵子(坂田)、外間美智子(坂田)、与那嶺理香(坂田) 【入選】仲本直史(西原)、比嘉利枝子(坂田)、山本洋子(坂田)石原尚美(坂田)		六年 【銀賞】宮城朋子(坂田) 【入選】呉屋幸江(西原)、大城浩一(西原)		中学校の部 一年 【金賞】奥間史子 【銀賞】新垣豊、伊地秀男 【銅賞】宮平恵、奥浜徳子、城間寿子 【入選】小橋川恭幸、新川しのぶ		洋裁の部 中学校(二年生) 【金賞】外間幸代 【銀賞】城間千賀子、比嘉寿代 【銅賞】小波津さゆり、新里明子上原恵 【入選】作田美樹、具志堅直美、平安山寿賀子、新垣桂子、作田幸樹、安里律子、当間民子		二年 【金賞】宮城暢子 【銀賞】仲宗根尚子、上原恵 【銅賞】外間育代、我謝清美、城間満枝 【入選】大城早苗、津波古悦子、喜屋武侑子		三年 【金賞】玉那覇美香子 【銀賞】宮平百代、小波津英勝		高等学校の部 【金賞】幸本きよみ 【銀賞】前原信政、伊波利津子 【銅賞】仲吉敦子、謝名元悟、城間すが子 【入選】伊波和枝、知花孝江、仲宗根由紀子、木口建	

ちとうきびとぼく

坂田小学校一年 かねるたいが



じいさんがとうきびを小さく
きってぼくにあげました。あま
いしるができました。とてもおい
しかったです。

おじいさんは、「これからさ
とうがでるんだよ。」とおし
えてくれました。そのときに、
はじめてさとうきびだとわかり
ました。

ぼくは、しゅりうでうまれ、三
さいのとき西原にひっこしてき
ました。

おうちのしゅりうには、さと
うきびがいっぱいえられてい
ました。ぼくは、大きなすき
だなとおもいました。さとう
きびとわかったのは、ぼくのお
じいさんにつれられてさとうき
びだけになったときです。お

自然破壊



西原中学校 1年

武村 美加子

わあー なんてきれいな空なんだろう
絵の具でかいたような
まっさらな あおい あおい空
そしてその空には

純白の雲が 糸をひいたようにのびている
よこには「雲に負けるな」とばかりに
半分のお月さまが しろくひかっている
すがすがしい秋風にふかれて：

なんてすばらしいきれいな空
言葉では 言い表わせないくらい
どこまでも限らない 広い空
生きるってすばらしいんだと

心までさわやかに なる空
でも：

来年は 灰色の空と化した 公害の街から
いとが遊びにくる
そのときこの青い空がみられるだろうか
だんだん公害にむしばまれていく沖繩、西原
きのうまで草のびのびと生い茂っていた空地も
もう今では緑の生き物は 茶の死がい
一昨年泳げた海も すでに水泳禁止
私達はこの身近にせまりつつある危険を
だまってい見過ごしていいの
いいえ 沖繩のこの美しい空や海を
あの灰色の自然にかえては なるものか！

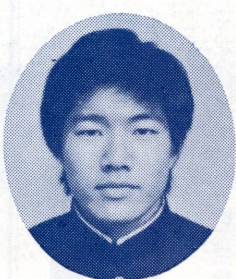
自然は泣いている：

「今まで私達は人間のために
いろいろなものをさげました
このうえ命までとるのですか！」
そうだ 自然だって生き物だ
もうこれ以上自然をこわさないで
私達の自然なだから：

こわすのは もうやめて！！

わがふるさとに

西原高等学校 三年 佐久田 朝行



純朴でやさしい人々が住み肥
沃な土地を耕す農村である西原
村は、今、急激に都市化してい
るのだと、うれいとも寂しい
とも表現のしようもない妙な気
持ちになってしまった。

西原村は、昔は「ニシバル」

と呼ばれて、中城城、首里城、
浦添城などの立つ、小高い丘に
囲まれた盆地と、それに続く中
城湾に開かれる地味の肥えた平
野部に人々はカライモや砂糖き
びを植えて、おだやかにくらし
ていたそうである。海に面した
我謝や兼久は漁業を営む人々も
いたとのことだが、与那原町で
漁業組合が作られて発展したの
に反して漁業者は、陸に上がり
鎌を手にするようになって漁業

先日久しぶりに近くの丘に登
り、西原村を眺めて時を過し
た。小学校の頃の遊び場の雑木
林は文化住宅が立ち並び車がひ
しめき豊かな実りをもたらした
畑は工場地や学校用地と変わっ
ていた。

さらに琉大地は山を削り谷
を埋めて広大な、なまなましい
黒土の平地と化して、アスファ
ルトの道路が縦横に走ってい
た。

は、かいつしてしまったとの
ことである。

ところで、西原村は数百年に
もわたり、琉球の政治や文化の
中心地であり、大消費地であつ
た首里・那覇に接していたが
ら、今日まで商工業が発達する
でなく、誇りに足りるすべから
ず、伝統文化が継承されるでもな
く、平凡な農村に甘んじていた
のはどうしてだろうか。

たしかに、棚原のミルク祭
り、幸地の獅子舞い、小波津の
棒術、我謝の、綱引きは、あり
ますが、近年すたれている状態
である。

我謝の、綱引きを模倣したと
言われる与那原のつな引きは、
沖繩の名物行事になっている言
か。

とうの、近隣の村々の発展を
よそに、僅に残った伝統文化は
すたれ、遅れを取っているのが
現実だと思ふ。

「何事も人より先に行動する
な」という、謙譲の美徳に酔っ
て農耕の一等地にあぐらをかい
て昔の慣習の中に、おとなし
く、外からのものを甘んじて受
け入れる消極的な西原の気質を
この辺りで見なおす必要がある
と思うのだが、この西原村の人
々の気質は、どこから生まれ出
たものだろうか。

自然の恵みが豊かなことも一
因であろう。しかし、それだけ
ではないはずである。

政治、軍事の中心地である浦
添、首里に囲まれていること
は、一面この地域が激しい政争
の地であり、戦場と化して、そ
のたびに西原の祖先は、恐怖の
中に血の嵐が止むまで、身をひ
そめていたのではないだろう
か。

か。

所得税・贈与税の申告はじまる

申告期限は三月十五日まで

昭和五十三年度の贈与税申告は
二月一日から、所得税の確定申告
は二月十六日から、それぞれ受付
がはじまります。どちらも申告期
限は三月十五日までです。

期限内に申告しないと加算税な
ど無駄な税金を納めていただくこ
とになりますので、申告は三月十
五日までには済ませるようにして

北那覇税務所では、本村の納税
者の皆様がわざわざ税務所まで行
かないでも申告できるように西原
村役場で次の期日に移動納税相談
を実施します。

二月十六日 10時～16時
二月十七日 10時～12時

昭和五十三年度

村・県民税（第四期分）納付について

納期限：一月三十一日（水）

尚一、二、三期分未納の方も早目に納めていただきます
ようお願いいたします。

れるにまかせて、サラリーマン
に変わっているのが現実だから
である。

ここに至って、西原村は文化
学園都市化を目標にかかげ着々
と進めていることは、大変よろ
こばしい限りである。県立の高
校、国立の大学と、その姿はす
でに見えて来た。

ところが、私たちが熟慮しな
ければ、悔を子孫に残すこと
があるとおそれるのである。そ
れは言うまでもなく都市公害で
ある。

何でもすなおに受け入れる人
の良きから那覇市や浦添市の先
進地域で許されない工業が侵入
して来はしないかと言うことで
ある。

すぐれた知識人の知恵によ
り、文化都市、学園都市を築
き、西原村民多数の賛同のもと
に進められているこの輝かしい未
来像が、企業の営利だけの犠牲
になることは、余りにも情けな
いことである。

従来の純心さ、人の良さだけ
の消極的な西原気質をここに修
正して、西原村の目標としての
文化都市、学園都市に悪影響を
及ぼすと予知できる企業は断固
として拒絶する態度と自らの手
で西原村を作るのだという決意
が、村民一人一人に求められる
と思っている。

この態度を堅持し、行動も辞
さない決意が西原村民の共通の
ものとなれば、死にひんした浜
は昔の美しさに返り、少なくな
った緑を取り戻し、理想的な西
原村が村民の総意で作られるも
のと思う。

昭和五十三年度
歳末助け合い募金

昭和五十三年度歳末助け合い募金として村内各種団体から一〇〇万二、六四四円が村社会福祉協議会に集まり、その募金は村内の困っている家庭（計七十七世帯）に贈られ喜ばれた。

歳末助け合いにご協力下された村民各位に対してこの紙面をかりて深く感謝致します。

なお、募金の内訳は下記の通り。

金額（円）			
団体	金額	金額	金額
戸別募金	227,270	戸別募金	122,370
職域募金	240,000	法人（大口）募金	320,000
法テリ（村）	320,000	義援金	(5名)27,438
個西原	33,766	学生会	30,800相当
古蔵	1,001,644	生物	
総計			

昭和五十三年の歩み

- 一月
4日 新春名刺交換会
6日 東部消防組合出初式
15日 成人式（村役場ホール）
19日 坂田小学校三年生役場見学
10日 西原小三年生村役場見学
新垣盛吉さん小菊を本土へ
- 二月
17日 比嘉昭幸、与那城勲の両議員、町村議会議員功労賞受賞
- 三月
3日 翁長正昌、呉屋善徳、小橋川正世、仲宗根政栄、米山則子の五氏、町村職員功労受賞
7日 青年教室閉校式
9日 中央公民館及び社会福祉センターの建設委員会が発足
13日 第二回村議会定例会、25日まで（村身障害児童生徒適正就学指導委員会設置条例制定など）
23日 西原中学校卒業式
24日 坂田、西原小学校卒業式
26日 老人クラブ総会
27日 兼久漁船揚場完成
30日 琉球大学医学部用地造成工事起工式（棚原、上原地域）
31日 村職員採用試験
我謝児童公園、西原中学校プールが完成
- 四月
2日 村婦人会定期総会
3日 大城政吉氏、教育委員に就任
6日 村役場の人事異動
資産税と税務課を統合し税務課にて、厚生課を分離して保険年金課、福祉課に行政機構改革
14日 村老人クラブ、四国九州旅行、28日まで（27人）
24日 黒穂病防除作業、28日まで
25日 西原高等学校体育館竣工
29日 村婦人会リーダー研修、30日まで
- 五月
3日 愛和保育園、父親半日入園
9日 我謝児童公園開園式
19日 村商工会第三回通常総会
24日 西原小学校PTA、学校給食参観
28日 村婦人会運動会
- 六月
1日 村育英会総会
8日 事業所の立ち入り調査（助役、関係課長・職員など）
10日 西原高等学校体育館落成式
15日 西原の塔にスズラン献供（北海道から）
16日 県総合文化センター誘致を要請
17日 養豚業者対象に健康診断
18日 村婦人主張大会
21日 学校問題整備促進委員会発足（委員十人に辞令交付）
26日 第四回村議会定例会、28日まで（村特別土地保有税審議会条例制定など）
27日 村農協通常総会
- 七月
9日 村民バレーボール大会
17日 730交通安全住民大会
18日 熊本県鹿央町からカブト虫、村内小・中学校へ贈呈
19日 西原中学校プール・テニスコート落成祝賀会
21日 村青少年健全育成協議会総会
25日 青年教室開校式
30日 交通方法変更。村職員による部落道での交通安全街頭指導、8月5日まで
- 八月
22日 第11管区海上保安本部の海上防災訓練
23日 第三回小学生各学区対抗排球大会
25日 南部消防操法大会で西原分団応用操法優勝
27日 村議会議員選挙告示
- 九月
3日 村議会議員選挙投票日
7日 官平村長、北海道、愛媛県の医学部所在市町を視察、12日まで
- 十月
1日 西原中学校運動会
5日 村畜産共進会
6日 第八回村議会臨時会
7日 第二十五回村民体育大会、8日まで
9日 中央公民館起工式
11日 官平村長、南米視察、28日まで（ペルー、ボリビア、アルゼンチン、ブラジル、ハワイ）
13日 村役場庁舎二階に企画課、産業課、農業委員会、村商工会の事務室完成
16日 坂田幼稚園園舎起工式
18日 西原小学校運動会
22日 坂田小学校運動会
26日 村慰霊祭
- 十一月
12日 第三回村民運動会
14日 南国養豚生産組合の養豚団地起工式
26日 第十四回村駅伝大会
30日 琉球大学農学部本館ビル竣工、昭和52年12月14日着工
- 十二月
2日 第一回西原まつり、3日まで
10日 県知事選挙投票日
15日 水道庁舎完成（東部消防組合西原分道所二階に増築）
20日 第十回村議会定例会、22日まで、20日、町制移行決議
25日 琉球大学医学部用地造成工事完了

＝村史
だより＝

兼スクワディサー

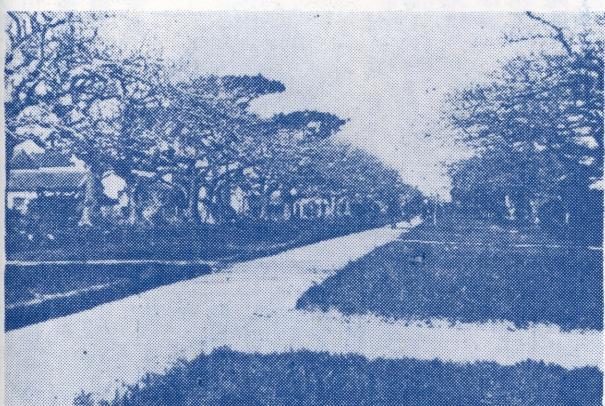
西原

＝昔と今＝

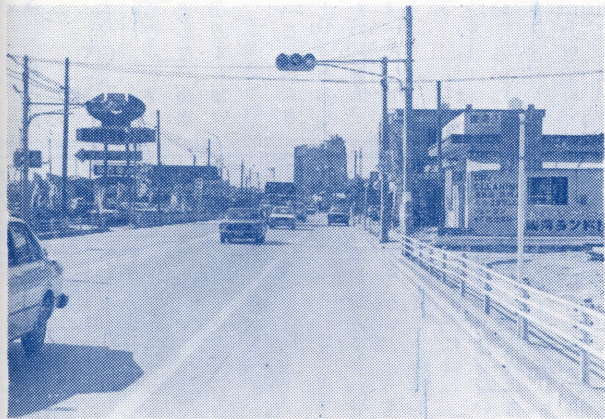
左の写真は戦前の糖業試験場内にあった我謝馬場、昭和初期。並木道である。糖業試験場の敷地及び農場は二万五千九百三坪、建物には四百五十坪（旧地籍）という広大なものであった。大正二年に糖業試験場として買収される以前まで、ここは我謝ウマイと呼ばれていた。昔の馬場について、仲松弥秀著『古層の村』によると、「旧落時代、主なる平民百姓村落に、ここ我謝馬場はめずらしくクワディサー樹の並木であった。旧五月の睦み（アブシバ）や原山（はるやま）勝負のあと余興として、このクワディサーの並木の下を各々から、このクワディサーは樹令三百年をこえ、直径一・五メートル余もある大木（老木）であった。昭和十二年に、唯一の村大綱引きを挙行政した場所でもある。その並木で巾八間余もある馬場を覆いつくしていた。戦前この兼スクワディサー並木は文化財として県から指定されていたという。

その後、戦時中に防空壕の構築材として伐りとられた。それでも、幹は残っていたが、戦後アメリカ軍によって、西原飛行場の誘導灯設置の為に完全に伐り倒されてしまったという。上の写真は現在の『我謝ウマイ跡』である。ここに街路樹が一本もないのは、戦前の兼スクワディサーの並木を知っている村民にとっては、さびしいかぎりである。

昭和五十三年の歩み
●一月
4日 新春名刺交換会
6日 東部消防組合出初式
15日 成人式（村役場ホール）
19日 坂田小学校三年生役場見学
10日 西原小三年生村役場見学
新垣盛吉さん小菊を本土へ
●二月
17日 比嘉昭幸、与那城勲の両議員、町村議会議員功労賞受賞
●三月
3日 翁長正昌、呉屋善徳、小橋川正世、仲宗根政栄、米山則子の五氏、町村職員功労受賞
7日 青年教室閉校式
9日 中央公民館及び社会福祉センターの建設委員会が発足
13日 第二回村議会定例会、25日まで（村身障害児童生徒適正就学指導委員会設置条例制定など）
23日 西原中学校卒業式
24日 坂田、西原小学校卒業式
26日 老人クラブ総会
27日 兼久漁船揚場完成
30日 琉球大学医学部用地造成工事起工式（棚原、上原地域）
31日 村職員採用試験
我謝児童公園、西原中学校プールが完成
●四月
2日 村婦人会定期総会
3日 大城政吉氏、教育委員に就任
6日 村役場の人事異動
資産税と税務課を統合し税務課にて、厚生課を分離して保険年金課、福祉課に行政機構改革
14日 村老人クラブ、四国九州旅行、28日まで（27人）
24日 黒穂病防除作業、28日まで
25日 西原高等学校体育館竣工
29日 村婦人会リーダー研修、30日まで
●五月
3日 愛和保育園、父親半日入園
9日 我謝児童公園開園式
19日 村商工会第三回通常総会
24日 西原小学校PTA、学校給食参観
28日 村婦人会運動会
●六月
1日 村育英会総会
8日 事業所の立ち入り調査（助役、関係課長・職員など）
10日 西原高等学校体育館落成式
15日 西原の塔にスズラン献供（北海道から）
16日 県総合文化センター誘致を要請
17日 養豚業者対象に健康診断
18日 村婦人主張大会
21日 学校問題整備促進委員会発足（委員十人に辞令交付）
26日 第四回村議会定例会、28日まで（村特別土地保有税審議会条例制定など）
27日 村農協通常総会
●七月
9日 村民バレーボール大会
17日 730交通安全住民大会
18日 熊本県鹿央町からカブト虫、村内小・中学校へ贈呈
19日 西原中学校プール・テニスコート落成祝賀会
21日 村青少年健全育成協議会総会
25日 青年教室開校式
30日 交通方法変更。村職員による部落道での交通安全街頭指導、8月5日まで
●八月
22日 第11管区海上保安本部の海上防災訓練
23日 第三回小学生各学区対抗排球大会
25日 南部消防操法大会で西原分団応用操法優勝
27日 村議会議員選挙告示
●九月
3日 村議会議員選挙投票日
7日 官平村長、北海道、愛媛県の医学部所在市町を視察、12日まで
●十月
1日 西原中学校運動会
5日 村畜産共進会
6日 第八回村議会臨時会
7日 第二十五回村民体育大会、8日まで
9日 中央公民館起工式
11日 官平村長、南米視察、28日まで（ペルー、ボリビア、アルゼンチン、ブラジル、ハワイ）
13日 村役場庁舎二階に企画課、産業課、農業委員会、村商工会の事務室完成
16日 坂田幼稚園園舎起工式
18日 西原小学校運動会
22日 坂田小学校運動会
26日 村慰霊祭
●十一月
12日 第三回村民運動会
14日 南国養豚生産組合の養豚団地起工式
26日 第十四回村駅伝大会
30日 琉球大学農学部本館ビル竣工、昭和52年12月14日着工
●十二月
2日 第一回西原まつり、3日まで
10日 県知事選挙投票日
15日 水道庁舎完成（東部消防組合西原分道所二階に増築）
20日 第十回村議会定例会、22日まで、20日、町制移行決議
25日 琉球大学医学部用地造成工事完了



▲（昔）戦前の糖業試験場内にあった我謝馬場、昭和初期。



▲（今）我謝馬場跡の国道329号線、昭和54年1月6日撮影。